

民学同は統一会議(民学同派)を支持せよ！

1. ヨーワ回中執選考をとりまぐ情勢

市大自治会ヨワ回中執選考は本日開始される。中執選考をとりまぐ情勢は、ベトナム反戦斗争の勝利的展望の前進とそれを阻むべく熾烈に展開されている内外反動攻勢の激化によって規定されている。

オ一に、ベトナムに於る米帝の孤立の深化は、ベトナム反戦斗争の徹底的展開

による追害を必要としている。オ二に、米帝の侵略に協力・加担してきた佐藤内閣は動搖を深めつゝ、日帝の対外侵略・安保条約固定化によって危境を回避せんとしている。オ三に、三派「全学連」の大学自治の内部からの破壊を利用して大学自治と学生運動への攻撃が強化されている。

2. 市大自治会公の現状

かかる情勢の中で、市大自治会は、自称「主流派」(中執多数派)のトロツキズムへの傾斜、自治会の政治斗争特殊化に引きまわしによつて、その大衆的基盤を喪失しつつある。トロツキ派がそれを一層

深化する役割を果していることはいうまでもない。これに対して、諸要求路線と「全学連」復帰をしかける民青派へ全学連統一派は、反としての学生運動を否定することによって、逆り誤りに陥入っている。

3. ヨーワ回中執選考の意義と任務

かかる事態を克服し、市大自治会の大衆的・民主的再生を勝ちとり、全大衆人の統一の中核に力めること——ここにこそ、ヨワ回中執選考の意義と任務は存在する。この任務は、選挙戦を通じての各派の政策的論争によつて果されねばならない。従つて、今選挙戦の争点は次の三案である。

国内的立場をいかにして実現し、それを抑圧・返還、安保破壊の斗いにいかに繼承するか。オ二に、大学自治の内外からの破壊・攻撃にいかに対処するか。オ三に、分裂を続ける学生運動の統一をいかにして果すか。それは民青派の「全学連」復帰、あるいは自称主流派の「ヨワ目全国自治会共闘」によつてなしうるのか否かである。

4. 民学同は統一会議(民学同派)を支持する

以上の論議につけて、既にわれわれの見解は明らかにしてきた。これらの諸案について、われ同盟はわれわれと立場を同じくする統一会議(民学同派)を支持し、その勝利のために闘う。

2年間市大自治会を担ってきた統一会議は自称主流派のトロツキー主義への傾斜によつて分裂のやむなきに至つたが、統一会議の正しい伝統を繼承する統一会議(民学同派)は、必ずや全市大衆の期待に応えるであろう。

ヨワ回中執選考の意義とわれわれの任務 市大自治会の大衆的・民主的再生を！

すべての民主的学友は、民学同に結集しよう。